

令和6年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 高槻小 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、6年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、算数）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「児童質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思えます。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 児童質問調査

児童質問調査
○ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※ 本校の6年生については、単学級ですので個人が特定されないように公表の方法については、配慮しています。

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.6	60
全国	9.5	68	10.1	63

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	「知識及び技能」における「我が国の言語文化に関する事項」、「思考力、判断力、表現力等」における「読むこと」の正答率が全国平均を大きく上回った。
	よくできた問題	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかどうかをみる問題
	努力が必要な問題	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題

算数	全体的な傾向や特徴など	「数と計算」、「変化と関係」の領域において、正答率が全国平均を上回った。
	よくできた問題	除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる問題
	努力が必要な問題	球の直径の長さとは立体的の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる問題

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査の結果分析
・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」、「人が困っているときは進んで助けていますか」の問いに対して、100%の児童が肯定的に回答している。自他を認め合い、よりよい人間関係の中で、学校生活が送られ、道徳科を中心に「心の育ち」に関する学習や活動の成果であると考ええる。 ・「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」、「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」の問いに肯定的な回答が100%であった。1単位時間の中で、話し合いの場を設定し、意見交流を実践している成果であると考ええる。 ・タブレット端末などICT機器の活用に関する肯定的な回答が全国平均を上回っていた。学習の中で、自分の考えや意見を伝えたり、共有したりする場面で、ICT機器を活用している成果である。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

国語科学習での「ことのは」の取組、朝のチャレンジタイムの認知機能強化トレーニング「コグトレ」、「MIM」を活用し、「言葉の力」をつける取組を継続していく。
意見交流の場（話し合い活動）を1単位時間の中で設定し、ICT機器を活用しながら、自分の考えを広げたり、深めたりできるようにする。

② 家庭生活習慣等に関する取組

学校作成「家庭生活でのやくそく」を周知し、タブレット端末などICT機器を用いた家庭学習や自主学習を取り入れ、児童が計画的、積極的に取り組めるようにする。